

## AIシステム導入によるタクシー配車の効率化を図る

甲府ハイヤー事業協同組合（前田誠理事長 組合員4社）は、5月1日にAI（人工知能）を活用したクラウド型のタクシー配車システム「DS」を導入した。

システム導入の背景には、従業員の高齢化などによるタクシー業界の深刻な人手不足がある。

国土交通省が公表した全国の「タクシー運転者数と平均年齢の推移」によると、平成24年に34万人超だったタクシー運転手（法人）は、令和3年には22万1千人程度になっており、約12万人が減少し、運転手は年々減っている。また、「タクシー業界の現状について」には、法人タクシーの車両数も、平成19年に22万台超に対して令和2年には約17万台と車両も大幅に少なくなっている状況である。このような中、タクシー業界の抱える人手不足の解消に期待されているのが「AIタクシー配車システム」である。

この配車システムは、クラウド型でオペレーターが配車場所を専用のパソコンに入力するとAIがGPS（衛星利用測位システム）で、すべてのタクシーの位置を瞬時に把握し、タクシーに搭載した専用タブレット端末を通じて最

### 甲府ハイヤー事業協同組合



タクシーに搭載したタブレット

も近い場所にいる車両を検出する。運転手に、配車現場へ行くよう指示すると運転手はタブレット端末を通じ画面に表示する配車場所までのルート案内に従い目的地へ向かうことで、経験の浅い運転手でも迷うことなく迅速に対応できる。また、渋滞や事故情報をパソコンに入力することで運転手同士の情報共有も図られる。システムの導入で、配車に要する時間も従来よりも半分に短縮され、業務の効率化やサービスの向上、若い世代や土地勘の無い人でも働きやすい環境整備に繋がるのではと組合の期待は大きい。

